

17 急性期脳卒中患者の脳卒中地域連携パス適用率

指標の解説

- ・ パスとはクリニカルパスの略語であり、「治療計画」という意味である。
- ・ 脳卒中患者のリハビリテーションは、その治療成績を左右する要因の一つであり、急性期から回復期へのシームレスな移行が重要である。
- ・ 急性期脳卒中で入院した患者が、脳卒中連携パスを利用して地域の回復期リハビリテーション病院へスムーズに転院し、専門的なりハビリテーションを継続できることが治療成績の向上につながる。
- ・ 当該パスの適用率が高ければ、地域との連携を含めた適切な治療を計画的に行う努力をしていると評価できる。

分子：脳卒中地域連携パスを利用した入院患者数

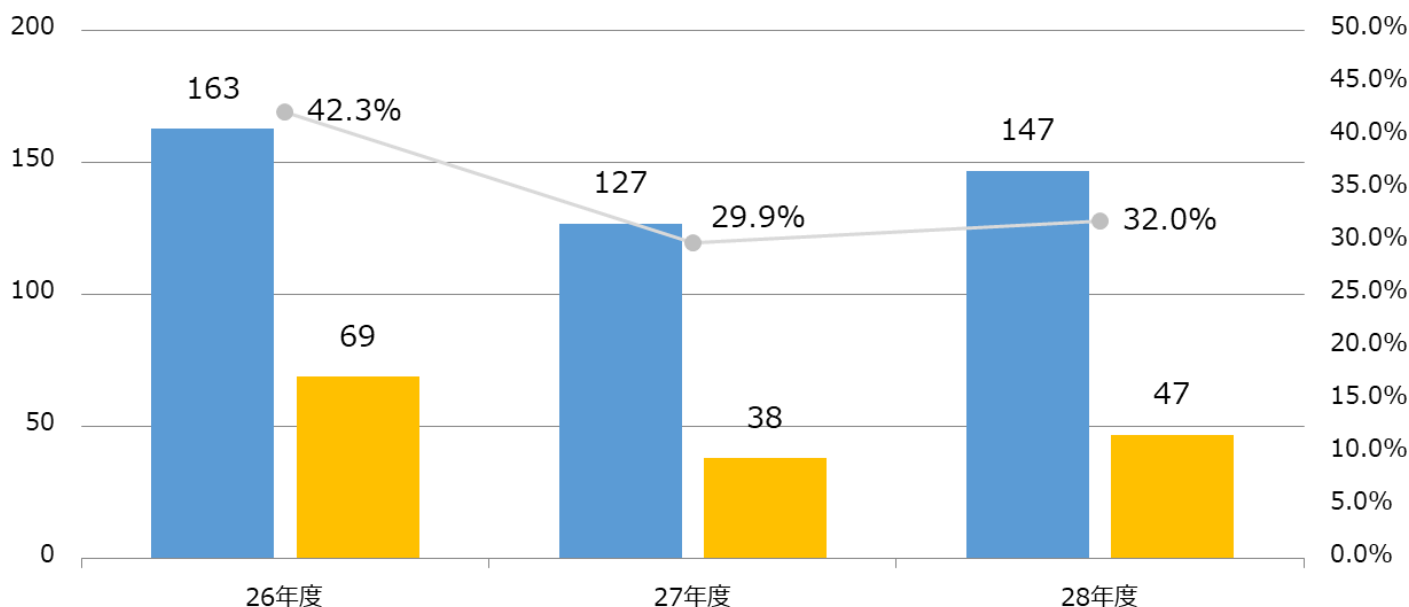
分母：最も医療資源を投入した傷病名が脳卒中（脳梗塞、くも膜下出血）であるもののうち、発症後3日以内に入院した患者数

参考値：25.5%

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が脳卒中（急性発症又は急性増悪した脳梗塞、脳出血又はくも膜下出血）に該当する退院患者数

（引用元：「社会福祉法人恩賜財団済生会平成27年度医療・福祉の質の確保・向上に関する指標」250床以上病院の平均値）



■ 最も医療資源を投入した傷病名が脳卒中（脳梗塞、くも膜下出血）であるもののうち、発症後3日以内に入院した患者数

■ 脳卒中地域連携パスを利用した入院患者数

●— パス適用率